学校番号	414

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）生活文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次で学習した「家庭基礎」の内容を充実・発展させ、衣食住を中心に日本の文化に関心を持ち、SDGS を取り入れながら自ら考え、実技・実習を通して、これからの生活を主体的に創造する資質・能力を育成する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯を通しての生活に関する知識の理解を図るとともに、実技・実習を通してそれらにかかる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
実技・実習を通しながら、社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
これからの社会がどうすれば良くなるのかという継続的な視点を持ちながら、主体的に創造しようという実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、人と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を SDGS の観点からも構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を次世代を見据えながら創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	消費生活	消費社会を生きる エコバッグ作りを通して消費生活と環境を考える	a:資源調達から廃棄までの各段階における環境負荷について検討し，環境に調和した生活を工夫することができる。 b:持続可能な社会に参画する意義について考えを深め，まとめたり，発表したりしている。 c:環境負荷の少ない生活の実践について考えようとしている。	製作実習 定期考査	ワークシート	振り返りシート
	衣生活	私たちがつなぐ衣生活の文化 赤ちゃん甚平作りを通して、日本の衣文化を考える	a:日本や世界のさまざまな衣文化の事例を通じて，衣文化がその土地の風土の中で長年にわたって形成されたものであることを理解している。また製作を通じて和服の構造を理解する。 b:異なる衣文化について理解すし思考を深め，考えをまとめたりしている。 c:異なる文化を認め合うことや慣れ親しんだ衣文化について理解することについて思考を深め，考えをまとめたりしている。	製作実習 定期考査	ワークシート	振り返りシート
二学期	食生活	私たちと食べ物 日本の食文化と海外の食文化を調べ、異文化理解をする(調べ学習、調理実習を含む)	a:日本や世界のさまざまな食文化の事例を通じて，食文化がその土地の風土の中で長年にわたって形成されたものであることを理解している。 b:異文化を認め合うことや慣れ親しんだ食文化について理解することについて思考を深め，考えをまとめたり，発表したりしている。 c: 食文化に関心をもち，人間と食べ物とのかかわりについて考えようとしている。	調理実習 定期考査	ワークシート	振り返りシート

	住生活	人間らしく住む 日本の住文化と海外の住文化を調べ、これからの住生活を考察する	a:住まいの役割，生活状況に応じた住まい，住まいの機能性や快適性，住文化，安全や環境に配慮した住まい，住まいの計画・管理，住環境について理解し，健康で快適に，かつ安全で環境に配慮したこれからの住生活を営む技能を身につけている。 b:住まいの役割，生活状況に応じた住まい，住まいの機能性や快適性，安全や環境に配慮した住まい，住まいの計画・管理，住環境などの中から問題を見いだして課題を設定し，健康で快適に，かつ安全で環境に配慮した住生活を営むために必要なことについて考えをまとめている。 c:健康で快適に，かつ安全で環境に配慮した住生活が営めるよう，自分の住生活を振り返って改善したり，生活の中で実践したり工夫したりして，生活の充実向上をはかろうとしている。	定期考査	ワークシート	振り返りシート
三学期	これからの人とくらし	これからをどう生きるか 今までの学習を通して、これからの人生の課題を把握し、SDGS の観点からまとめる	a:持続可能な社会に向けた制度や法律について理解し、資源調達から廃棄までの各段階における環境負荷について検討し，環境に調和した生活を工夫することができる。 b:持続可能な社会に参画する意義について考えを深め，まとめたり，発表したりしている。 c:環境保全活動をどのように拡大していくべきか，また，どんな新しいしくみが必要かを考えようとしている。	レポート	ワークシート	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度